

# 7

## BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使いかたと機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録／削除などができます。

<b>1</b>	BIOS セットアップとは.....	124
<b>2</b>	BIOS を工場出荷時設定に戻すには .....	129
<b>3</b>	Standard CMOS Features の詳細.....	130
<b>4</b>	Advanced BIOS Features の詳細 .....	132
<b>5</b>	Advanced Chipset Features の詳細 ...	134
<b>6</b>	Integrated Peripherals の詳細.....	136
<b>7</b>	Power Management Setup の詳細 ....	140
<b>8</b>	PnP/PCI Configurations の詳細 .....	143
<b>9</b>	PC Health Status の詳細.....	144
<b>10</b>	Frequency/Voltage Control の詳細 .....	145
<b>11</b>	パスワードの設定 .....	146
<b>12</b>	工場出荷時の設定値 .....	149

# ① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使いかたなどを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設などの変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーを交換または消耗した場合は、BIOS セットアップは工場出荷時の設定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・ BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での項目／説明の表示はありません。

## ① BIOS セットアップの起動方法

### 1 電源を入れた直後（起動時）に **[Delete]** キーを押し続ける

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示された後、セットアップ画面が表示されます。セットアップ画面が表示されたら **[Delete]** キーを離してください。



お願い

・ **[Delete]** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **[Delete]** キーを押し続けないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行って、パソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。



## ② BIOS セットアップの操作方法

### ● BIOS セットアップ画面について



青色で表示されている項目は変更できません。

▲や▼が表示された場合は、表示画面より上下に項目があることを示します。  
上下の項目を表示するためには キーを押します。

### ● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。

ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

#### ● キー

1 つ前の項目に移動します。

#### ● キー

1 つ先の項目に移動します。

#### ● キー

左のメニューに移動します。

#### ● キー

右のメニューに移動します。

#### ● キー

メニューで選択したサブメニューを表示します。

### ● PageUp、[-]キー

項目の選択値を1つ前の値に変更します。

### ● PageDown、[+]キー

項目の選択値を1つ後の値に変更します。

### ● F10キー

メインメニューで現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

F10キーを押すと「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?Y」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は[Y]キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は[N]キーを押します。

### ● Esc キー

メインメニューでは、設定を保存せずに終了する画面が表示されます。サブメニューでは、メインメニューに戻ります。

Escキーを押すと「Quit Without Saving (Y/N)?N」というメッセージが表示されます。設定を保存せずに終了する場合は[Y]キーを押してから[Enter]キーを、セットアップを続ける場合は[Esc]キーを押します。

### ● F1 キー

サブメニュー画面でBIOS セットアップの説明と操作方法（[General Help]）を表示します。

[General Help] を閉じるには、[Esc]キーを押します。

### ● F5 キー

最後に保存された設定値に戻します。設定を元に戻す場合は[Y]キーを押してから[Enter]キーを、戻さないでセットアップを続ける場合は[Esc]キーを押します。

### ● F6 キー

メインメニューでは、現在の設定を保存します。

F6キーを押すと「Save CMOS To BIOS (Y/N)?N」というメッセージが表示されます。設定を保存する場合は[Y]キーを、保存しない場合は[N]キーを押します。

サブメニューでは、表示しているメニューのBIOS セットアップのトラブル対応用の既定値を呼び出します。システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

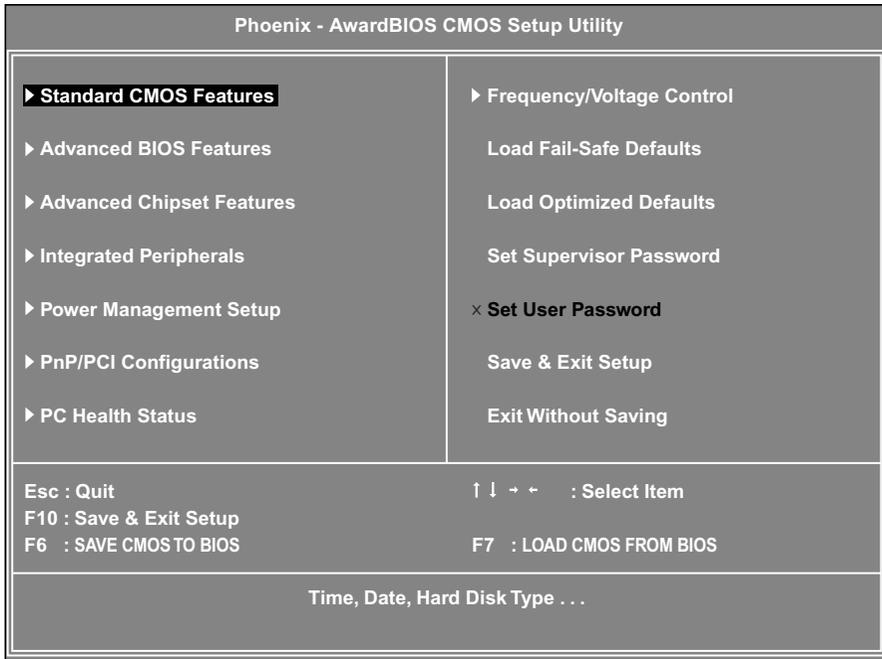
### ● F7 キー

表示しているメニューのBIOS セットアップの内容を工場出荷時の設定値にします。

F7キーを押すと「Load CMOS From BIOS (Y/N)?N」というメッセージが表示されます。工場出荷時の設定値を呼び出す場合は[Y]キーを押してから[Enter]キーを、呼び出さないでセットアップを続ける場合は[Esc]キーを押します。

### 3 BIOS セットアップの内容

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。

- **Standard CMOS Features**  
日付や時間などを設定します。
- **Advanced BIOS Features**  
起動するドライブや、ディスプレイの表示などを設定します。
- **Advanced Chipset Features**  
チップセットの設定をします。
- **Integrated Peripherals**  
周辺機器の設定をします。
- **Power Management Setup**  
省電力などの設定をします。
- **PnP/PCI Configurations**  
プラグアンドプレイの設定をします。
- **PC Health Status**  
本装置の動作状態を表示します。
- **Frequency/Voltage Control**  
CPU やメモリクロックを設定します。
- **Load Fail-Safe Defaults**  
設定を BIOS の既定値（トラブル対応用）に戻します。  
システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

- **Load Optimized Defaults**

BIOS セットアップの内容を工場出荷時の設定値に戻します。

- **Set Supervisor Password**

管理者用パスワードの設定・変更をします。

- **Set User Password**

ユーザパスワードの設定・変更をします。

管理者用パスワードが設定されていないと、設定できません。

- **Save & Exit Setup**

設定した内容を CMOS に保存し、セットアップを終了します。

- **Exit Without Saving**

CMOS の内容を変更せずにセットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

## 2

# BIOSを工場出荷時設定に戻すには

- 1** BIOS セットアップを起動する  
☞ BIOS セットアップの起動方法 ⇨ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2** メインメニューより「Load Optimized Defaults」を選択し、**Enter** キーを押す  
「Load Optimized Defaults (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。
- 3** **Y** キーを押す  
設定値に戻さずセットアップを続ける場合は、**N** キーを押します。
- 4** **Enter** キーを押す
- 5** **F10** キーを押す  
「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」のメッセージが表示されます。
- 6** **Y** が選択されていることを確認し、**Enter** キーを押す  
変更した設定を保存して終了します。

日時の設定、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブの設定などを行います。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility Standard CMOS Features		
Date (mm : dd : yy)	Sat, <b>May</b> 19 2001	Item Help
Time (hh : mm : ss)	15 : 57 : 47	
▶ IDE Primary Master	[XXXXXX]	Menu Level ▶
▶ IDE Primary Slave	[XXXXXX]	Change the day , month , year and century
Halt On	[All Errors]	
Base Memory	XXXX	
Extended Memory	XXXXXX	
Total Memory	XXXXXX	
↑↓←→ : Move    Enter : Select    +/-/PU/PD : Value    F10 : Save    ESC : Exit    F1 : General Help F5 : Previous Values    F6 : Fail-Safe Defaults    F7 : Optimized Defaults		

## Date (mm/dd/yy)

年（西暦）月日を設定します。

[月/日/年] の項目移動には、  キーまたは  キーを使います。

## Time (hh/mm/ss)

時刻（24 時間単位）を設定します。

[時 : 分 : 秒] の項目移動には、  キーまたは  キーを使います。

## IDE Primary Master | IDE Primary Slave

IDE インタフェース上のドライブを設定します。

- ・ IDE Primary Master ..... メインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのマスタ (Master)
- ・ IDE Primary Slave ..... メインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)

本装置は、標準状態でハードディスクドライブが [IDE Primary Master] に、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが [IDE Primary Slave] に設定されています。

キーを押すと、次の項目が表示されます。

### ▼ IDE HDD Auto-Detection

[Enter]キーを押すと、ハードディスクのパラメーターが自動で設定されます。

### ▼ Write Cache

2次キャッシュに書き込みを行うかどうかを設定します。

- ・ Disable
- ・ Enable

### ▼ IDE Primary Master, IDE Primary Slave,

IDE 装置のタイプを設定します。

- ・ None..... 使用しない
- ・ Auto ..... 自動設定
- ・ Manual..... HDDのパラメータを設定することができます。



お願い

・ [Auto] 以外の設定に変更するとドライブを認識できなくなることがあります。通常は変更しないでください。

### ▼ Access Mode

アクセスモードを設定します。

- ・ CHS
- ・ LBA
- ・ Large
- ・ Auto

### Halt On

起動時にエラー検出する周辺機器などを設定します。

- ・ All Errors ..... すべてのエラーを検出する
- ・ No Errors ..... 一切エラー検出しない
- ・ All,But Keyboard ..... キーボードエラー以外のすべてのエラーを検出する
- ・ All,But Diskette ..... フロッピーディスクドライブエラー以外のすべてのエラーを検出する
- ・ All,But Disk/Key ..... キーボードエラー、フロッピーディスクドライブエラー以外すべてのエラーを検出する

### Base Memory

システムメモリ量を表示します。(表示のみ)

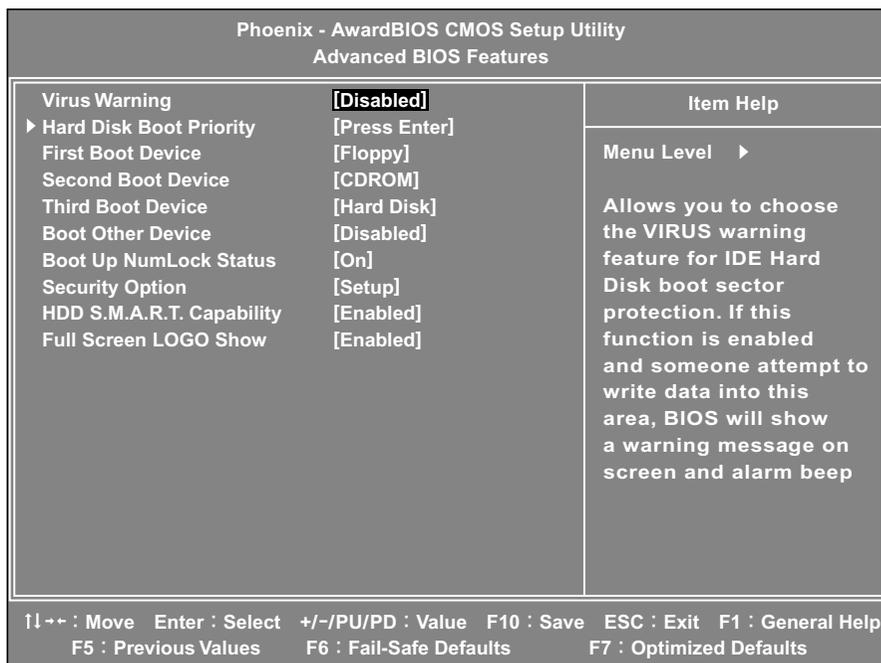
### Extended Memory

拡張メモリ量を表示します。(表示のみ)

### Total Memory

システムの総メモリ量を表示します。(表示のみ)

起動するドライブの順番や周辺装置についての設定を行います。



## Virus Warning

ハードディスクのブートセクタを書き換えるプログラムやウイルスを発見した場合に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

- Enabled ..... メッセージを表示する
- Disabled ..... メッセージを表示しない

## Hard Disk Boot Priority

起動するハードディスクドライブを選択します。

[Enter] キーを押すと、次の項目が表示されます。

- Pri.M XXXXXX
- Bootable Add-in Cards

## First Boot Device

## Second Boot Device

## Third Boot Device

起動するドライブの順番を指定できます。CD-R/RW ドライブから起動する場合は、[CDROM] に設定します。

- Floppy
- LS120
- Hard Disk
- CDROM
- ZIP100

- ・ USB-FDD
- ・ USB-ZIP
- ・ USB-CDROM
- ・ USB-HDD
- ・ LAN
- ・ Disabled

## Boot Other Device

その他のドライブから起動するかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 起動しない
- ・ Enabled ..... 起動する

## Boot Up NumLock Status

パソコン本体が起動する際にキーボードのテンキーが使用できる状態 (NumLock 状態) にするかどうかを設定します。

- ・ Off ..... NumLock 状態にしない
- ・ On ..... NumLock 状態にする

## Security Option

起動時にパスワードの入力画面を表示するかどうかの設定をします。

[Set Supervisor Password] または [Set User Password] でパスワードが設定されている場合のみ有効です。

- ・ Setup ..... BIOS セットアップを起動するときにパスワード入力画面を表示する
- ・ System ..... パソコンを起動するときにパスワード入力画面を表示する
- ・ None ..... 表示しない

## HDD S.M.A.R.T. Capability

"S.M.A.R.T." は、"Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology" を表します。

ハードディスクドライブの状態を監視し、いくつかの (すべてではなく) 障害を予測する機能です。

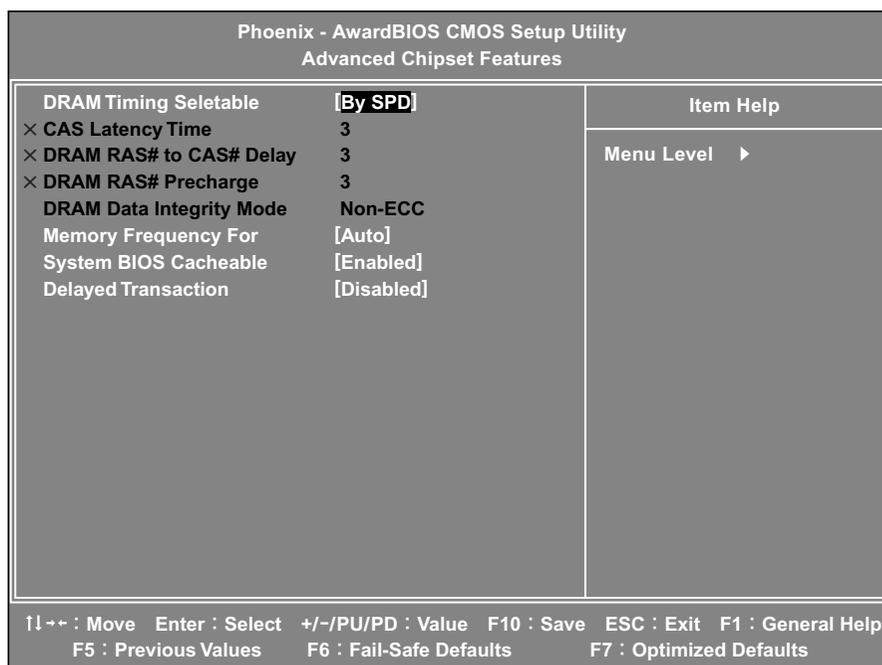
- ・ Disabled ..... S.M.A.R.T 機能を使用しない
- ・ Enabled ..... S.M.A.R.T 機能を使用する

## Full Screen LOGO Show

起動時に TOSHIBA ログ画面を表示するかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 表示しない
- ・ Enabled ..... 表示する

周辺機器や本装置のチップセットの設定を行います。



## DRAM Timing Selectable

データ転送タイミングを設定します。

- ・ Manual
- ・ By SPD

### ▼ CAS Latency Time

[DRAM Timing Selectable] が [Manual] に設定されている場合、メインメモリの CAS Latency を設定できます。設定単位はクロックです。

- ・ 2
- ・ 3

### ▼ DRAM RAS# to CAS# Delay

[DRAM Timing Selectable] が [Manual] に設定されている場合、RAS 信号から CAS 信号を出力するときの遅延時間を設定できます。設定単位はクロックです。

- ・ 3
- ・ 2

### ▼ DRAM RAS# Precharge

[DRAM Timing Selectable] が [Manual] に設定されている場合、メインメモリのプリチャージ時間を設定できます。設定単位はクロックです。

- ・ 3
- ・ 2

## DRAM Data Integrity Mode

メモリのエラーチェックを行うモードの設定をします。

本装置では、変更できません。

- ・ Non-ECC ..... ECC (Error Correcting Code) を使用しない

## Memory Frequency For

メインメモリで使用する DIMM の周波数を指定します。

- ・ PC100
- ・ PC133
- ・ Auto

## System BIOS Cacheable

システム BIOS の内容を、2 次キャッシュへ読み込むことを許可または禁止します。

- ・ Disabled ..... 禁止
- ・ Enabled ..... 許可

## Delayed Transaction

PCI バスと ISA バスの待ち時間を合わせるかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 合わせない
- ・ Enabled ..... 合わせる

# 6

# Integrated Peripherals の詳細

パソコンが起動する際の設定を行います。

## 画面上部

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility  
Integrated Peripherals

On-Chip Primary PCI IDE	[Enabled]	↑ ↓	Item Help Menu Level ▶
IDE Primary Master PIO	[Auto]		
IDE Primary Slave PIO	[Auto]		
IDE Primary Master UDMA	[Auto]		
IDE Primary Slave UDMA	[Auto]		
USB Controller	[Enabled]		
USB Keyboard Support	[Disabled]		
USB Mouse Support	[Disabled]		
AC97 Audio	[Auto]		
Init Display First	[AGP]		
Onboard Lan Boot ROM	[Disabled]		
POWER ON Function	[BUTTON ONLY]		
× KB Power ON Password	Enter		
× Hot Key Power ON	Ctrl-F1		
Onboard FDC Controller	[Enabled]		
Onboard Serial Port 1	[3F8/IRQ4]		
Onboard Parallel Port	[378/IRQ7]		
Parallel Port Mode	[Standard]		
× ECP Mode Use DMA	3		

↑↓←→ : Move    Enter : Select    +/-/PU/PD : Value    F10 : Save    ESC : Exit    F1 : General Help  
F5 : Previous Values    F6 : Fail-Safe Defaults    F7 : Optimized Defaults

## 画面下部

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility  
Integrated Peripherals

IDE Primary Master PIO	[Auto]	↑ ↓	Item Help Menu Level ▶
IDE Primary Slave PIO	[Auto]		
IDE Primary Master UDMA	[Auto]		
IDE Primary Slave UDMA	[Auto]		
USB Controller	[Enabled]		
USB Keyboard Support	[Disabled]		
USB Mouse Support	[Disabled]		
AC97 Audio	[Auto]		
Init Display First	[AGP]		
Onboard Lan Boot ROM	[Disabled]		
POWER ON Function	[BUTTON ONLY]		
× KB Power ON Password	Enter		
× Hot Key Power ON	Ctrl-F1		
Onboard FDC Controller	[Enabled]		
Onboard Serial Port 1	[3F8/IRQ4]		
Onboard Parallel Port	[378/IRQ7]		
Parallel Port Mode	[Standard]		
× ECP Mode Use DMA	3		
PWRON After PWR-Fail	[Off]		

↑↓←→ : Move    Enter : Select    +/-/PU/PD : Value    F10 : Save    ESC : Exit    F1 : General Help  
F5 : Previous Values    F6 : Fail-Safe Defaults    F7 : Optimized Defaults

## On-Chip Primary PCI IDE

それぞれの PCI ローカルバスの IDE コントローラを有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 無効にする
- ・ Enabled ..... 有効にする

### ▼ IDE Primary Master PIO, IDE Primary Slave PIO

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、PIO のモードを設定できます。

- ・ Auto ..... 自動的に割り当てる
- ・ Mode 0 ~ Mode 4

### ▼ IDE Primary Master UDMA, IDE Primary Slave UDMA

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、UDMA を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 無効にする
- ・ Auto ..... 有効にし、自動的に割り当てる

## USB Controller

USB コネクタを有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 無効にする
- ・ Enabled ..... 有効にする

## USB Keyboard Support | USB Mouse Support

USB キーボードおよび USB マウスを有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 無効にする
- ・ Enabled ..... 有効にする
- ・ Auto ..... 自動設定

## AC97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用するかどうかの設定をします。

- ・ Auto ..... 自動的に割り当てる
- ・ Disabled ..... 使用しない

## Init Display First

起動画面を表示するグラフィックカードを選択します。

- ・ PCI Slot
- ・ AGP

## Onboard Lan Boot ROM

内蔵 LAN のブート ROM を使用するかどうかを設定します。

- Enabled ..... 使用する
- Disabled ..... 使用しない

## POWER ON Function

電源を入れる動作について設定します。

- Password ..... パスワードを入力する
- Hot KEY ..... **[Ctrl]** キーと **[F1]** ~ **[F12]** キーの組み合わせを押す
- Mouse Left ..... マウスをクリックする
- Mouse Right ..... マウスを右クリックする
- Any KEY ..... 何かキーを押す
- BUTTON ONLY ..... 電源スイッチのみ
- Keyboard 98 ..... Wakeup キー付きのキーボードを接続した場合に、  
Wakeup キーを押す

### ▼ KB Power ON Password

[POWER ON Function] が [Password] に設定されている場合、選択できます。  
**[Enter]** キーを押すと、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを設定してください。

### ▼ Hot Key Power On

[POWER ON Function] が [Hot KEY] に設定されている場合、選択できます。  
**[Enter]** キーを押すと、**[Ctrl]** キーと **[F1]** ~ **[F12]** キーの組み合わせが表示されます。

## Onboard FDC Controller

メインボードのフロッピードライブコントローラを使用するかどうかを設定します。

- Disabled ..... 使用しない
- Enabled ..... 使用する

## Onboard Serial Port 1

メインボードのシリアルポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- Disabled ..... 使用しない
- 3F8/IRQ4
- 2F8/IRQ3
- 3E8/IRQ4
- 2E8/IRQ3

## Onboard Parallel Port

メインボードの平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled ..... 使用しない
- ・ 378/IRQ7
- ・ 278/IRQ5
- ・ 3BC/IRQ7

## Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- ・ Standard
- ・ SPP
- ・ EPP1.7
- ・ EPP1.9
- ・ ECP
- ・ ECP+EPP

### ▼ ECP Mode Use DMA

[Parallel Port Mode] が [ECP] または [ECP + EPP] に設定されている場合、平行ポートのDMAチャンネルを設定できます。

- ・ 1
- ・ 3

## PWRON After PWR-Fail

停電などの不具合によりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後のシステムの状態を設定します。

- ・ Off ..... システムの電源を入れない
- ・ On ..... システムの電源を入れる
- ・ Former-Sts ..... 電源がシャットダウンした直前の状態に戻す

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility Power Management Setup			
ACPI Suspend Type	<b>[S3 (STR)]</b>	Item Help	
Run VGABIOS if S3 Resume	[Auto]	Menu Level ▶	
MODEM Use IRQ	[NA]		
Soft-Off by PWR-BTTN	[Instant-Off]		
Wake-Up by PCI card	[Disabled]		
Power On by Ring	[Disabled]		
Wake Up On LAN	[Disabled]		
USB KB Wake-Up From S3	[Enabled]		
Resume by Alarm	[Disabled]		
× Date (of Month) Alarm	0		
× Time (hh:mm:ss) Alarm	0 : 0 : 0		
↑↓←→ : Move    Enter : Select    +/-/PU/PD : Value    F10 : Save    ESC : Exit    F1 : General Help F5 : Previous Values    F6 : Fail-Safe Defaults    F7 : Optimized Defaults			

## ACPI Suspend Type

使用する省電力モードの種類を設定します。

- ・ S1 (POS) ..... ハードディスクドライブ、ディスプレイ、PCIカード、PCカードなどの周辺機器の電源を切断します。
- ・ S3 (STR) ..... メモリ以外の電源を切断します。
- ・ S1&S3 ..... S1 と S3 を Windows が自動的に判断します。  
インストールしているソフトウェアやドライバによっては正常に動作しない場合があります。



- ・ 増設する PCI カード、PC カードや USB 対応機器によっては、正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[S1 (POS)] に設定してください。

### ▼ Run VGABIOS if S3 Resume

[ACPI Suspend Type] が [S3 (STR)] または [S1&S3] に設定されている場合、S3 モードから復帰したときに VGABIOS を再度読み込むかどうかを設定できます。

- ・ Auto ..... ドライバが再度読み込むかどうかを自動的に設定します。
- ・ Yes ..... 再度読み込みます。
- ・ No ..... 再度読み込みません。

## Modem Use IRQ

モデムが使用する IRQ と同じ IRQ を選択します。

- ・ NA
- ・ 3
- ・ 4
- ・ 5
- ・ 7
- ・ 9
- ・ 10
- ・ 11

## Soft-Off by PWR-BTTN

電源スイッチの用途を設定します。

- ・ Instant-Off ..... 電源スイッチを押すことで、システムの電源のオン・オフを可能にする
- ・ Delay 4 Sec ..... 電源スイッチを 4 秒押し続けることで、システムの電源をオフにする

## Wake-Up by PCI card

PCI カードからの PME 信号の入力による動作を設定します。

内蔵 LAN の Wake On LAN 機能を使用するためには [Enabled] に設定してください。

- ・ Disabled ..... PME 信号の入力を無視する
- ・ Enabled ..... PME 信号入力で、システムを起動、または省電力モードを解除する

## Power On by Ring

Modem Ring を検出したときに本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 電源を入れない
- ・ Enabled ..... 電源を入れる

## Wake Up On LAN

LAN を使用して本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 電源を入れない
- ・ Enabled ..... 電源を入れる

### ▼ USB KB Wake-Up From S3

[ACPI Suspend Type] が [S3 (STR)] または [S1&S3] に設定されている場合、USB 接続のキーボードから省電力モード (S3) を解除することを可能にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled ..... 可能にしない
- ・ Enabled ..... 可能にする

## Resume by Alarm

---

省電力モードの状態から、通常の状態に戻す日時を設定します。

- ・ Disabled ..... 設定しない
- ・ Enabled ..... 通常の状態に戻す日、時間を設定する

### ▼ Date (of Month) Alarm

---

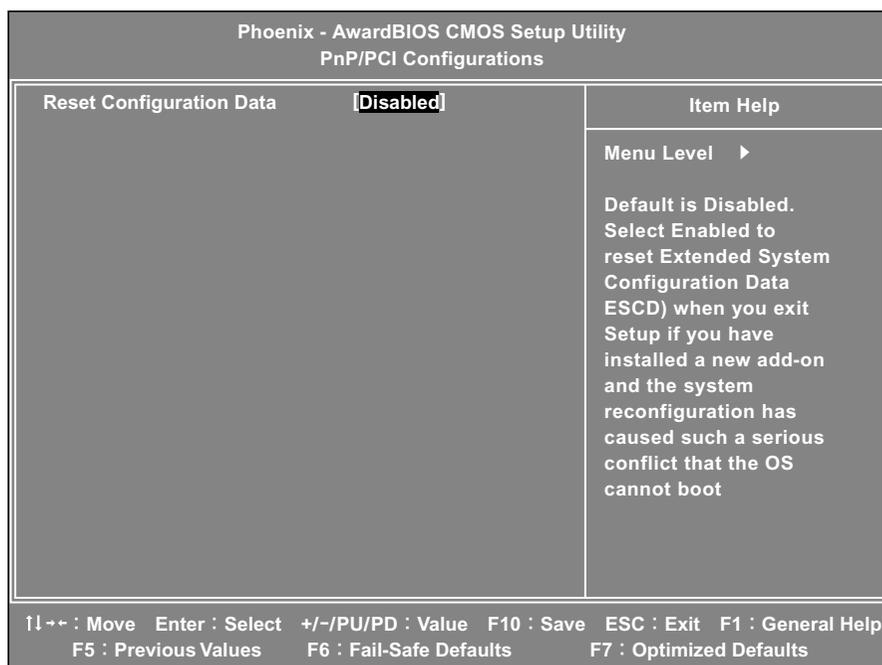
[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す日を設定できます。

### ▼ Time (hh:mm:ss) Alarm

---

[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す時間、分、秒を設定できます。

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



## Reset Configuration Data

CMOS のシステム構成情報を初期化するかどうかを設定します。

市販の PC カードを増設したときなど、システムが正常に起動しない場合に使用します。[Enabled] に設定し、再起動してください。

- Disabled ..... 初期化しない
- Enabled ..... 初期化する

本装置の動作状態を表示します。

Phoenix - AwardBIOS CMOS Setup Utility		Item Help
PC Health Status		Menu Level ▶
Shutdown Temperature	<b>[Disabled]</b>	
VCC +5V	X.XXX V	
CPU Vcore	X.XXX V	
AGP +1.5V	X.XXX V	
Hub-Link +1.8V	X.XXX V	
+ 12V	XX.XXX V	
- 12V	(-)XX.XXX V	
Standard 3.3V Power Supply	X.XXX V	
Main 3.3V Power Supply	X.XXX V	
Battery Power Supply	X.XXX V	
Current System Temperature	XX°C	
Current CPU Temperature	XX°C	

↑↓←→ : Move    Enter : Select    +/-/PU/PD : Value    F10 : Save    ESC : Exit    F1 : General Help  
 F5 : Previous Values    F6 : Fail-Safe Defaults    F7 : Optimized Defaults

## Shutdown Temperature

本装置内の温度が上昇したとき、自動的にシャットダウンする温度を設定します。

- ・ 60°C/140°F
- ・ 65°C/149°F
- ・ 70°C/158°F
- ・ Disabled ..... シャットダウンしない

CPU やメモリのクロック数を設定します。



## CPU Clock Ratio

CPUの動作クロック数を設定する項目です。  
 本装置では、CPUの動作クロックは搭載されているCPUに合わせて自動的に設定されるため、本設定は無効になります。

## Auto Detect PCI Clk

PCIクロックを自動的に設定するかどうかを設定します。

- Enabled ..... 自動設定する
- Disabled ..... 自動設定しない

# 11 パスワードの設定

パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにできます。

電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。

パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者用パスワード (Supervisor Password) の2つがあり [Set User Password] ではユーザパスワードを、[Set Supervisor Password] では管理者用パスワードを設定できます。管理者用パスワードが設定されていないと、ユーザパスワードの設定はできません。

パスワードを設定している場合、[Advanced BIOS Features] の [Security Option] の設定に応じて、「Enter Password : 」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押すと画面が表示されます。

パスワードが必要なければ、パスワードを入力する画面が表示されたときに**[Enter]** キーを押します。

ユーザパスワードを設定した場合、ユーザパスワードでの起動時に BIOS セットアップにて設定できる項目が制限されます。

1文字から8文字までのパスワードを設定します。キーボードから入力しているとき、入力した文字は表示されません。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので、確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。パスワードの解除は有償で行っています。また、そのとき身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

## Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

### ▼ Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。

パスワードは1文字から8文字で入力してください。

入力した文字は「\*\*\*\*」で表示されます。

### ▼ Confirm Password :

[Enter Password : ] でパスワードを入力後、**[Enter]** キーを押すと表示されます。

確認のためパスワードをもう1度入力します。

入力後、**[Enter]** キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

- ・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

## ●パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。  
[Enter]キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、もう1度パスワードを入力してください。

その後[Enter]キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。  
もう1度パスワードを入力し、[Enter]キーを押すと、パスワードが変更されます。

## ●パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、[Enter]キーを押します。  
「PASSWORD DISABLED !!! Press any key to continue…」と表示されますので、何かキーを押してください。  
パスワードが削除されます。



メモ

・ユーザパスワードを設定している場合は、管理者用パスワードと同時に削除されます。

## Set User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。  
管理者用パスワードが設定されていないと、ユーザパスワードの設定はできません。

### ▼Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。  
パスワードは1文字から8文字で入力してください。  
入力した文字は「\*\*\*\*」で表示されます。

### ▼Confirm Password :

[Enter Password : ]でパスワード入力後、[Enter]キーを押すと表示されます。  
確認のためパスワードをもう1度入力します。  
入力後、[Enter]キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

・ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

## ●パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。  
[Enter]キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、再度パスワードを入力してください。

その後[Enter]キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。  
もう一度パスワードを入力し、[Enter]キーを押すと、パスワードが変更されます。

## ●パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、Enterキーを押します。

「PASSWORD DISABLED !!! Press any key to continue…」と表示されますので、何かキーを押してください。

パスワードが削除されます。



メモ

・管理者用パスワードを削除すると、同時に削除されます。

工場出荷時の設定値の一覧です。

各項目の設定方法については各メニューの詳細をご覧ください。

## Standard CMOS Features

項目	工場出荷時の設定値
IDE Primary Master	(ハードディスクドライブ名)
IDE Primary Slave	(CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ名)
Halt On	All Errors

## Advanced BIOS Features

項目	工場出荷時の設定値
Virus Warning	Disabled
First Boot Device	Floppy
Second Boot Device	CDROM
Third Boot Device	Hard Disk
Boot Other Device	Disabled
Boot Up NumLock Status	On
Security Option	Setup
HDD S.M.A.R.T. Capability	Enabled
Full Screen LOGO Show	Enabled

## Advanced Chipset Features

項目	工場出荷時の設定値
DRAM Timing Selectable	By SPD
Memory Frequency For	Auto
System BIOS Cacheable	Enabled
Delayed Transaction	Disabled

## Integrated Peripherals

項目	工場出荷時の設定値
On-Chip Primary PCI IDE	Enabled
IDE Primary Master PIO	Auto
IDE Primary Slave PIO	Auto
IDE Primary Master UDMA	Auto
IDE Primary Slave UDMA	Auto
USB Controller	Enabled
USB Keyboard Support	Disabled
USB Mouse Support	Disabled
AC97 Audio	Auto
Init Display First	AGP
Onboard Lan Boot ROM	Disabled
POWER ON Function	BUTTON ONLY
Onboard FDC Controller	Enabled
Onboard Serial Port 1	3F8/IRQ4
Onboard Parallel Port	378/IRQ7
Parallel Port Mode	Standard
PWRON After PWR-Fail	Off

## Power Management Setup

項目	工場出荷時の設定値
ACPI Suspend Type	S3 (STR)
Run VGABIOS if S3 Resume	Auto
MODEM Use IRQ	NA
Soft-Off by PWR-BTTN	Instant-off
Wake-Up by PCI card	Disabled
Power On by Ring	Disabled
Wake Up On LAN	Disabled
USB KB Wake-Up From S3	Enabled
Resume by Alarm	Disabled

## PnP/PCI Configurations

項目	工場出荷時の設定値
Reset Configuration Data	Disabled

## PC Health Status

項目	工場出荷時の設定値
Shutdown Temperature	Disabled

## Frequency/Voltage Control

項目	工場出荷時の設定値
CPU Clock Ratio	16 X
Auto Detect PCI Clk	Enabled



# 付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

<b>1</b>	製品仕様 .....	154
<b>2</b>	各インタフェース .....	158
<b>3</b>	エラーメッセージ .....	164
<b>4</b>	技術基準適合について .....	166
<b>5</b>	トラブルチェックシート .....	167

# 1 製品仕様

## 仕様概要

モデルにより多少異なります。

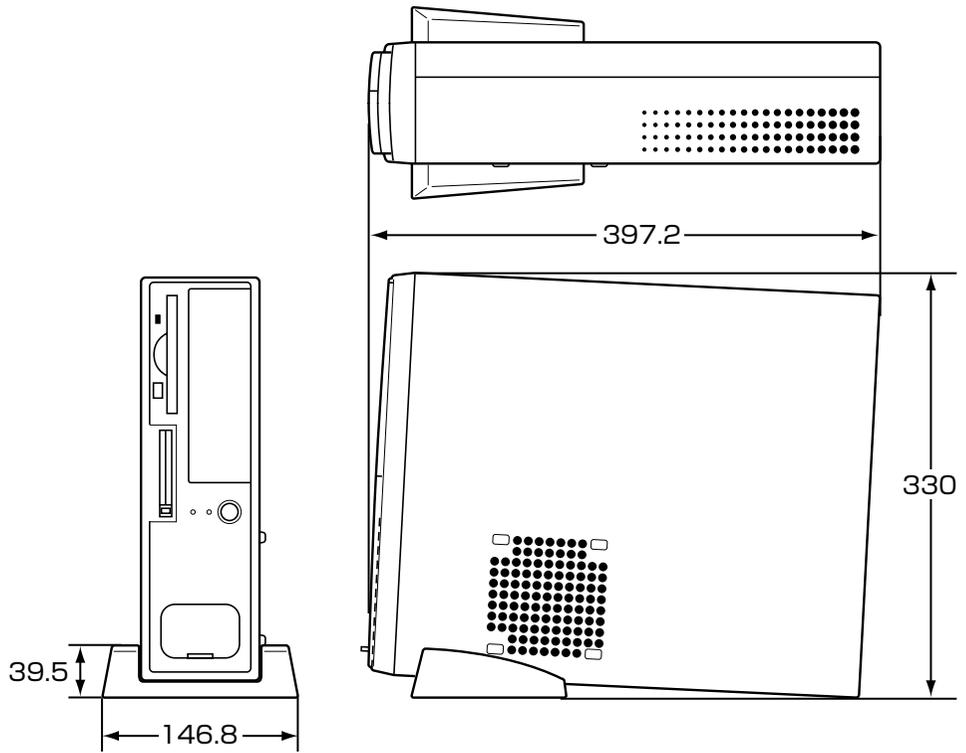
機種		EQUIUM 5050	
プロセッサ	メインプロセッサ	Pentium4 1.60GHz	
		1次CACHE (8KB) FPU内蔵	
		2次CACHE : 256KB	
メモリ	標準メモリ *1	DIMM 128MB/256MB/SDRAM	
	増設メモリ	PC133 ECCなし	
		DIMMスロット×2 (内1つを標準メモリで使用) 最大512MB (256M×2)	
	ROM	使用可能 DIMM 128MB/256MB PC133 ECCなし	
表示機能	コントローラ	FLASH MEMORY 2Mbit (書き換え可能)	
	ビデオRAM	Matrox Millennium G550	
	グラフィック表示	VRAM 32MB	
通信機能	伝送速度	640×480 256・64K・16M色 800×600 256・64K・16M色 1024×768 256・64K・16M色 1280×1024 256・64K・16M色 1600×1200 16M色 *2	
	適合規格	100Mbps TX LAN	
補助記憶装置	FDD	100BASE-TX/10BASE-T	
	HDD *1	3.5型 1台装備 720kB/1.2MB/1.44MB (3モード)	
		3.5型 1台装備 40GB/60GB	
	CD-ROM または CD-R/RW *1	CD-ROM	ATAPI 読み込み最大48倍速
CD-R/RW		ATAPI CD-ROM : 読み込み最大40倍速 CD-RW : 書き込み最大10倍速 CD-R : 書き込み最大24倍速	
入力装置	キーボード	109Aキー 分離型	
	マウス	PS/2 ホイール付き	

\*1 ご購入のモデルにより、異なります。

\*2 デジタルRGBディスプレイの最大解像度は1280×1024です。1600×1200モードは使用できません。

機 種		EQUIUM 5050
インタフェース	シリアル	1ポート D-SUB 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログRGB (3列タイプ)
	デジタルRGB	1ポート デジタル (DVI準拠)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	前面 2ポート/背面 2ポート
拡張スロット	PCI	106.68mm x 175mmサイズ x 2スロット
	PCカード	TYPE II x 2スロットまたはTYPE III x 1スロット (PC Card Standard準拠、CardBus対応)
内蔵機能	サウンド	i845 ICH2+CS4299
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug&Play対応BIOS
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	200W
周囲温度	動作	10℃~35℃
	非動作	-20℃~60℃
相対湿度	動作	20%Rh~80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	20%Rh~90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	93 (W) x 389 (D) x 310 (H) mm (縦置き時、台座を除く)
	キーボード	454 (W) x 173 (D) x 42 (H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9kg (台座を除く)
	キーボード	約1kg

● 外形寸法图



(单位 : mm)

## ● ハードウェアリソースについて

ご使用の環境（ハードウェア／ソフトウェア）によって変更される場合があります。

### ● Windows XP の場合

- 1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
  - メモリマップ : [メモリ]
  - I/O マップ : [I/O]
  - 割り込みレベル : [IRQ]
  - DMA チャンネル : [DMA]

### ● Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] - [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
  - メモリマップ : [メモリ]
  - I/O マップ : [I/O]
  - 割り込みレベル : [IRQ]
  - DMA チャンネル : [DMA]

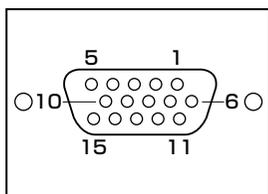
### ● Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
  - メモリマップ : [メモリ]
  - I/O マップ : [I/O]
  - 割り込みレベル : [IRQ]
  - DMA チャンネル : [DMA]

## ② 各インタフェース

### ● アナログ RGB インタフェース

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Unused	未使用	
10	GND	信号グランド	
11	ID0	モニタID	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

### ● アナログ RGB インタフェースの同期信号

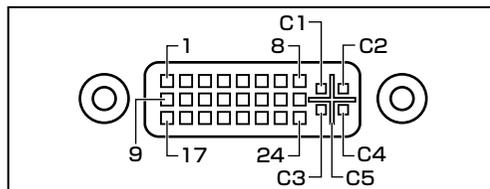
解像度 色数	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 1024	1600 x 1200
	垂直 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色

ご使用になれる解像度、色数は接続するディスプレイによって異なります。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

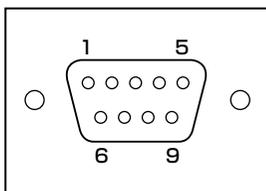
## デジタルRGB インタフェース



ピン番号	意味	ピン番号	意味
1	T.M.D.S.データ2-	16	ホットプラグ信号
2	T.M.D.S.データ2+	17	T.M.D.S.データ0-
3	T.M.D.S.データ2/4シールド	18	T.M.D.S.データ0+
4	T.M.D.S.データ4-	19	T.M.D.S.データ0/5シールド
5	T.M.D.S.データ4+	20	T.M.D.S.データ5-
6	DCCクロック信号	21	T.M.D.S.データ5+
7	DCCデータ信号	22	T.M.D.S.クロックシールド
8	アナログ垂直同期信号	23	T.M.D.S.クロック信号+
9	T.M.D.S.データ1-	24	T.M.D.S.クロック信号-
10	T.M.D.S.データ1+	C1	アナログ赤色ビデオ信号
11	T.M.D.S.データ1/3シールド	C2	アナログ緑色ビデオ信号
12	T.M.D.S.データ3-	C3	アナログ青色ビデオ信号
13	T.M.D.S.データ3+	C4	アナログ水平同期信号
14	電圧5V	C5	アナログ信号グランド
15	信号グランド (5V用)		

デジタルRGB ディスプレイの最大解像度は 1280 × 1024 ドットです。

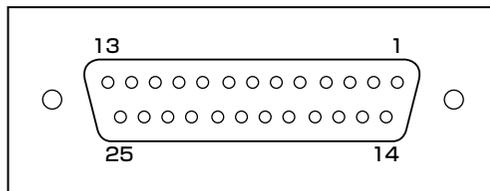
## シリアルインタフェース



(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

## ● パラレルインタフェース

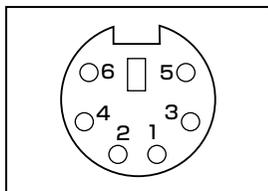


(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PDO～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PDO～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グラウンド	

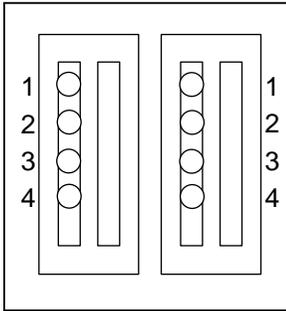
## ● キーボード・マウスインタフェース

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。



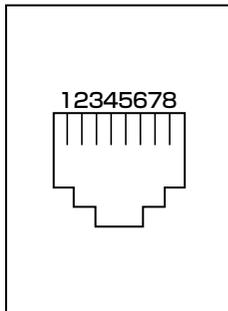
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グラウンド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

## ● USB インタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

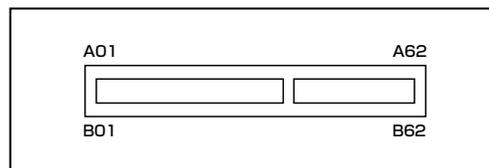
## ● LAN インタフェース



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

## ● 拡張スロット

### ● PCI スロット



(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	0	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	0	予約	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		予約	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	SDONE	I/O
41	+3.3V		SBO#	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O

(注) I/O は本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD [06]	I/O
55	AD [05]	I/O	AD [04]	I/O
56	AD [03]	I/O	GND	
57	GND		AD [02]	I/O
58	AD [01]	I/O	AD [00]	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64#	I/O	REQ64#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

### ● 拡張スロットの電流容量

拡張スロットで使用可能な電流容量は次のとおりです。

#### ● 拡張スロットの許容電流値

拡張デバイスの合計で、次の許容電流値を必ず守ってください。

電流容量	拡張スロット
+5V	5.0A以下
+3.3V	4.0A以下
+12V	4.0A以下
-12V	0.2A以下

ただし、+5V と +3.3V の消費電力の合計 ( $[+5V \text{ の電流値}] \times 5 + [+3.3V \text{ の電流値}] \times 3.3$ ) が 25 (w) を超えないようにしてください。

この項目では、システム起動時に発生する可能性のあるブザー類およびエラーメッセージを説明します。



**注意** ・これらのエラーが繰り返し発生する場合は、エラーメッセージの内容と現在の本体の設定環境を具体的に記録し、『保守サービスのご案内』をご覧ください。すぐにサービスステーションまでお問い合わせください。

エラーメッセージ	説明
BIOS BATTERY HAS FAILED	内蔵バッテリーが消耗しています。 新しいバッテリーに交換してください。 ☞ 「4章 2 内蔵バッテリーの交換」
CMOS CHECKSUM ERROR	CMOSでエラーが検出されました。内蔵バッテリーが消耗している可能性があります。 バッテリーが消耗している場合は、新しいバッテリーに交換してください。
DISK BOOT FAILURE, INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER	システムを起動する装置が見つかりません。 フロッピーディスク装置から起動する場合は、システムの入ったフロッピーディスクをセットし、 <b>[Enter]</b> キーを押してください。 ハードディスク装置から起動する場合は、システムが正しくインストールされているか、また、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
DISK DRIVERS OR TYPES MISMATCH ERROR -RUN SETUP	ディスク装置が正しく定義されていません。 BIOSセットアップを起動し、ディスク装置を正しく設定し直してください。 ☞ 「7章 BIOSセットアップについて」
ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE / ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER	ハードディスクをイニシャライズできません。 ハードディスクが正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。 また、BIOSセットアップで、ハードディスクの設定が正しく行われているか確認してください。 必要に応じてハードディスクのジャンパの設定が正しく行われているか確認してください。
FLOPPY DISK CNTRLR ERROR OR NO CNTRLR PRESENT	フロッピーディスク装置が見つかりません。またはイニシャライズできません。 フロッピーディスク装置が正しく接続されているか、ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
FLOPPY DISK(S) FAIL(XX)	

エラーメッセージ	説明
KEYBOARD ERROR OR NO KEYBOARD PRESENT	キーボードをインシャライズできません。 キーボードのケーブルが正しく接続されているか確認してください。 また、起動中にキーを押さないでください。
MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT	前回起動したときと、メモリの量（サイズ）が異なります。 （システムに認識されていません） BIOSセットアップを起動し、新しいメモリの量を設定してください。
MEMORY VERIFY AT...	メモリ書き込み確認でエラーが検出されました メモリマップを確認のうえ、デバイスが使用するメモリを指定された範囲内に設定してください。
PRESS A KEY TO REBOOT	再起動が必要なエラーが発生しました。 どれかキーを押してください。システムが再起動します。
PRESS F1 TO DISABLE NM1, F2 TO REBOOT	BIOSがNMI状態を検出しました。 NMIを無効にするには[F1]キーを押します。 NMIを無効にせずにシステムを再起動するには[F2]キーを押します。
MEMORY ADDRESS ERROR AT...	RAMでエラーが発生しました。 故障したRAMを新しいものと交換してください。
SYSTEM HALTED, (CTRL-ALT-DEL) TO REBOOT	システムを正常に起動できませんでした。 [Ctrl]+[Alt]+[Delete]キーを押して、再起動してください。
HARD DISK(S) FAIL (XX)	接続されているHDDが壊れている可能性があります。

# 4 技術基準適合について

## ● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



## ● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

## ● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

## ● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## ● 高調波対策について

本装置は「高調波ガイドライン適合品」です。

## ● レーザー製品の取り扱いについて

- ・ 本製品は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後も必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。
- ・ 本説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- ・ レーザー光に直接被爆しないため、絶対に製品を分解しないでください。

クラス1レーザー製品

## ● 仕様について



お願い

・ 本装置の仕様は国内向けになっております。海外ではご使用にならないでください。

## ● 製品寿命について

- 本製品の内蔵バッテリーの寿命は約3年です。

# 5

# トラブルチェックシート

円滑に対応させていただくために、お問い合わせの前に下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。

**Q.1** ご使用になっているパソコン名（型名）は？（本書表紙に表記）

機種名： \_\_\_\_\_

保証書などで以下を確認してください。

（製造番号： \_\_\_\_\_、購入店： \_\_\_\_\_、購入日： \_\_\_\_\_ など）

**Q.2** ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows® XP・Windows® 2000・Windows® 98 など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム）名： \_\_\_\_\_

その他： \_\_\_\_\_

**Q.3** どのような症状が起きましたか？

症状： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**Q.4** その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？

ハードウェアの増設の後（具体的に： \_\_\_\_\_）

ソフトウェア導入の後（具体的に： \_\_\_\_\_）

その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**Q.5** エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**Q.6** その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

一度発生したが、その後発生しない

電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない

電源を切ってから再起動しても必ず発生する

その他： \_\_\_\_\_

**Q.7** その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

ある一定の操作をすると発生する

どんな操作をしても発生する

その他： \_\_\_\_\_

**Q.8** インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名： \_\_\_\_\_

使用モデム名： \_\_\_\_\_

使用回線： 内線発信アリ  マイライン契約アリ  携帯

DSL / ケーブルTV  ISDN

**Q.9** お問い合わせの内容が周辺機器の場合

機器名（製品名）： \_\_\_\_\_

メーカー名： \_\_\_\_\_